

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0205	政策名	福祉の充実	施策主管課	長寿福祉課	課長名	今井 岳彦
------	------	-----	-------	-------	-------	-----	-------

政策の目指す姿 慣れ親しんだ地域で、共に支え合い、安心していきいきと暮らしています

施策No	02	施策名	高齢者福祉の充実	関係課名	東和市民サービス課
------	----	-----	----------	------	-----------

施策の目指す姿 高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っています

現状と課題

【現状】
 ・高齢者の多くが趣味や生きがいをもって生活していますが、高齢者が持つ能力や技術を地域福祉活動に十分に活かすことができていない状況です。
 ・要介護等認定者や認知症高齢者の増加により、介護サービスに係る経費が増加しています。
 ・少子高齢化により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増え、家族等による支援が難しくなっています。
 ・住民ボランティア養成を行い住民ボランティア組織の立ち上げを行っていますが、住民ボランティアのリーダーを務める担い手の不足により組織の拡大が図れないことや、地域支援サービスへの利用者の移行が進まず、サービス利用の増加につながっていません。
 ・介護や福祉サービスの利用に関する相談や高齢者虐待が疑われる事例など、高齢者に関する相談件数が増加しています。
 ・ライフスタイルの変化などにより、老人クラブへの加入者が減少しています。

【課題】
 ・高齢者が地域福祉活動に参画する場づくりや支援が必要です。
 ・介護サービス費などの抑制を図るために、介護予防の充実や認知症の早期発見、早期治療につなぐためのさらなる体制づくりが必要です。
 ・家族等による支援をなるべく必要としないために、介護予防を目的として高齢者自身が主体的に取り組んでいる「通いの場」の活動促進や、湯のまちホット交流サービスへの積極的な参加を促すことが必要です。
 ・住民ボランティア組織を立ち上げるためのリーダー育成支援や、地域支援サービスの対象となる者への地域サービスの理解を深めるための取組が必要です。
 ・介護サービスを適切に提供するためや、高齢者虐待に関する相談などに対応するために、専門の在宅医療・介護関係者などとの連携の強化が必要です。
 ・現老人クラブ会員のクラブ活動に対する意見や75歳未満の若手高齢者の老人クラブに対する意識を把握し、老人クラブの方向性を定めることが必要です。

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

・軽度生活援助事業の業務委託先のシルバー人材センターと介護保険サービスの総合事業として行う地域ボランティア団体との役割を整理し、サービス提供基準などの要綱改正を行い、さらなる事業構築を図る。
 ・地域における老人クラブ会員の意識調査を行い今後の方向性の検討を図る。
 ・介護職場の魅力や制度を広く周知するため、高校生などに介護のお仕事セミナーを行い、同時に介護人材確保事業の周知を図り介護人材確保を図る。

反映状況

・軽度生活援助事業について、要綱を改正し介護保険の総合事業サービスにおいて生活支援を担う地域ボランティア団体との役割を整理するとともに、事業の対象者を拡充した。
 ・老人クラブに対する適正な支援に向け、R2年度は意識調査のあり方・手法を検討し、R3年度に会員増や活動の活性化等に繋がる意見や要望を把握するためアンケート調査を実施する予定である。
 ・R2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、介護のお仕事セミナーを行わなかった。R3年度は行う予定である。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- 高齢者の社会参加の促進
 地域における生活支援の担う組織への支援 ・地域課題の解決に繋がる高齢者就労事業立上げへの補助
 老人クラブ組織のあり方の検討
- 高齢者の生活支援の充実
 相談体制の充実 ・地域包括支援センター業務の委託による実施
 高齢者の保護措置の適切な実施 ・養護老人ホームへの措置、高齢者虐待への対応
 高齢者の法人後見や市長申立をはじめとする権利擁護制度の推進 ・認知症高齢者などに対する成年後見制度の活用による支援
 高齢者への包括的な支援の推進 ・地域ケア個別会議での包括的支援の検討を踏まえた困難事例等に対する適切な支援の実施
- 高齢者の健康づくりの推進
 通いの場の拡大、湯のまちホット交流サービスの利用など高齢者自身による介護予防の推進
 認知症の早期発見・早期治療の推進 ・認知症サポーター養成講座の実施、認知症見守り・声かけ訓練の実施
- 介護サービスの充実
 介護サービス施設の計画的な整備 ・地域密着型特別養護老人ホーム整備への補助
 運営組織の拡大と対象者の適正利用による地域支援事業の充実 ・地域ボランティア団体立上げへの支援、生活支援ボランティアの養成
 介護サービスの質的向上 ・介護サービス施設の運営推進会議を通じての指導助言
- 在宅医療介護の連携推進
 在宅生活を支える医療・介護関係者の連携推進 ・関係者の顔が見える関係づくりと課題の協議検討

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
生きがいを持って暮らしている高齢者の割合	生きがいを持って暮らしている高齢者の割合を示す指標	出典：市民アンケート あなたは、生きがいを持って暮らしていると思いますか？ (1)そう思う (2)どちらかという とそう思う (3)どちらかという とそう思わない (4)そう思わない (5)どちらともいえない (1)(2)と答えた65歳以上の市民の割合	%	目標値	79.80	81.10	82.40	78.40	78.90	79.40
				実績値	78.40	77.40	73.80	71.90		
高齢者が必要な時に必要なサービスを受けていると感じる市民の割合	高齢者が必要な時に必要なサービスを受けていると感じる市民の割合を示す指標	出典：市民アンケート あなたも含めて身近な高齢者が、必要な時に必要な介護保険や高齢福祉サービスを受けていると思いますか？ (1)受けていると思う (2)ある程度は受けていると思う (3)受けていないと思う (4)どちらともいえない (5)わからない (1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値	75.40	76.50	77.70	72.50	73.00	73.50
				実績値	76.20	67.40	68.60	67.70		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「生きがいを持って暮らしている高齢者の割合」…【達成度b】 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて前年度より2.0%減少しているが、新型コロナウイルス感染防止のための自主的行動制限による外出の自粛や人との交流の減少が影響していると思われる。</p> <p>成果指標「高齢者が必要な時に必要なサービスを受けていると感じる市民の割合」…【達成度b】 前年度より0.9%減少したが、高齢者福祉サービスを受給する可能性がある65歳以上に限ると4.6%増の81.8%となっているのに対し、65歳以下では59.2%となっている。また、「わからない」と回答した方は65歳以上で7.7%に対し65歳以下では25.2%となっており、サービスの利用対象の年代が否かで感じ方に差があると思われる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（高齢者福祉サービス基盤整備事業）地域密着型特別養護老人ホームの整備について、事業所が設計等の協議に時間を要し予定どおりでできなかったことから、計画どおりに整備を進める必要がある。 ・（高齢者社会参加活動支援事業）地域を基盤とする高齢者の自主的な活動団体である老人クラブは、社会参加活動推進のための重要な団体であることから、今後も継続的な支援が必要である。 ・（介護人材確保事業）介護人材の不足が解消されていないことから、引き続き事業の周知を図る必要がある。
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p>
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所待機者の解消を図るため、施設整備を着実に進める必要がある。 ・老人クラブ数、加入者数ともに減少傾向にあり、老人クラブの維持存続を支援する必要がある。 ・職員が不足している施設が半数以上の状況にあるなど、介護人材の確保に努める必要がある。
<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度も認知症グループホームの整備を予定していることから、計画どおりに整備を進めるために、整備を行う事業所と綿密に連携を図る。 ・老人クラブの活動継続に向け、R3年中に「通いの場」や湯のまちホット交流サービス事業温泉施設、HP等を活用して老人クラブのイメージ、入会に対する意向とその理由、入会につながる老人クラブのあり方（活動等）等についてアンケート調査を実施する。 ・介護の職場の魅力を知ってもらうため、中学生や高校生を対象に介護のお仕事セミナーを行うとともに、併せてセミナーでの紹介やリーフレット、HPにより介護人材確保事業の周知を図る。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	高齢者在宅生活支援事業費	長寿福祉	間接・少数	直結	-
	高齢者福祉タクシー券給付事業や軽度生活援助事業(草刈り、除雪等)等、サービスが必要な高齢者へ、必要に応じたサービスの提供を実施(高齢者福祉タクシー券利用者数1,567人)				
020	高齢者介護予防対策事業費	長寿福祉	一致	直結	B
	高齢者の心身の健康増進と交流の促進、介護予防のために「湯のまちホット交流サービス事業」を実施。利用対象を60歳以上の個人とし、温泉等への入浴と交流の場を提供(延べ利用者数99,346人)				
030	高齢者福祉サービス提供事業費	長寿福祉	間接・少数	間接・補完	-
	生計困難者に介護保険サービスを提供するため、介護サービス事業者への助成を通じ、利用者負担の軽減を行う(社会福祉法人における軽減対象者数20人)				
040	高齢者福祉サービス基盤整備事業費	長寿福祉	間接・少数	間接・補完	C
	高齢者福祉サービス施設等の整備促進のため、社会福祉法人等に対し施設整備に係る経費等を補助(特別養護老人ホーム等施設入所定員1,628人)				
050	高齢者交流活動支援事業費	長寿福祉	一致	間接・補完	A
	高齢者の閉じこもり防止・交流促進のため、誰もが気軽に参加できる「ふれあい・あんしん交流」の場に対して支援を行う(サロン設置数235団体)				
060	高齢者社会参加活動支援事業費	長寿福祉	一致	間接・補完	C
	高齢者の健康維持、生きがいづくり、友愛活動、社会貢献活動等を実践する老人クラブの活動及び高齢者の活躍・生きがいの場の創出を支援するための補助(市内老人クラブ数105クラブ、老人クラブ会員数4,083人)				
070	高齢者保護措置事業費	長寿福祉	間接・少数	直結	-
	経済的、環境的要因等により居宅での生活が困難な高齢者を、養護老人ホームなどへ入所措置し養護する(養護老人ホームはなまき荘入所者数41人)				
080	介護人材確保事業費	長寿福祉	間接・少数	間接・補完	C
	介護サービス事業所等で働く人材の確保と定着を図るため、市奨学金の貸与を受けて資格を取得し、市内の介護サービス事業所へ就職しようとする方の奨学金返還の一部を補助(利用者1人)				
090	社会福祉施設等感染症対策支援事業費	長寿福祉	間接・少数	間接・補完	-
	社会福祉施設等の感染症対策について、サービスを継続提供するための経費に対する補助(補助金交付事業所数59事業所)				
100	在宅医療介護連携推進事業	長寿福祉	間接・少数	間接・補完	-
	在宅医療と介護サービスを切れ目なく継続的に提供するため、医療機関と介護サービス事業所など関係者との情報共有や競技を重ねていく中で連携を推進(在宅医療介護連携推進会議5回開催)				
110	地域介護予防活動支援事業	長寿福祉	一致	直結	B
	市内全域に、高齢者が容易に通える範囲に「通いの場」を展開し、住民主体で体操等を行うことにより生活機能の向上や介護予防につながる取り組みを支援(「通いの場」取り組み団体数110団体)				
120	生活支援体制整備事業(総合事業)	長寿福祉	一致	間接・補完	-
	生活支援の担い手となる住民ボランティアの養成及び地域団体が総合事業の生活支援事業を行う場合の事業立上げへの補助(ボランティア養成37人、地域立ち上げ1団体、ご近所サポーター事業実施件数631件)				